

NEWS LETTER

イベント開催報告

7月31日（水）に2024年度第1回FD教員セミナー「学生が選ぶベストティーチャーによる授業運営の工夫 vol.4」をオンラインにて開催しました。本セミナーは毎年好評をいただいている「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞教員による講演の第4弾で、今回は社会学部の李舜志准教授、情報科学部の首藤裕一准教授に授業運営の工夫についてご講演いただきました。多様な所属の先生方や博士後期課程の学生にご参加いただき、質疑応答や意見交換もあり、大いに盛り上がりました。

<参加者数：114名 >

学生が選ぶベストティーチャーによる授業運営の工夫

◆李 舜志（社会学部准教授）

「大規模対面授業でのさまざまな工夫について」

- ・担当授業の特性：300～350名の履修者、3分の2が1年生。
- ・授業の冒頭や集中力が切れてきた中盤でコミュニケーションアプリを活用することで、双方向のコミュニケーションを確保することができた。挙手制にするなど出てこない質問や意見等も、アプリだと学生が発信しやすい。
- ・教室内を歩き回ること、教壇側からだけでなく教室の後方列からも授業をすることができ、授業の雰囲気や歩き回る行為を防ぐことにもつながっている。その日の授業の雰囲気で歩き回る頻度を変えている。
- ・興味関心を引くために、授業内で扱うメディアに関連した様々な仕掛けを準備している（例えば、園芸店でパピルス（植物）を購入し、実際に紙を作る過程を記録し授業で披露するなど）。

◆首藤 裕一（情報科学部准教授）

「学生の意欲を引き出す授業を目指して」

- ・担当授業の特性：20～100名の履修者、必修・座学の専門授業が多い。
- ・授業に出ていなくても8割方理解できる講義資料にすることで、万が一休んでしまった場合でも、講義資料でリカバーできるように時間をかけて資料の作り込みをしている。また、文字量を徹底的に減らし、図・表をメインにすることで、授業中は教員の話の聞けるようにしている。
- ・中間・期末試験の過去問・模範解答を配布している。毎年、試験問題を作り直す負担はあるが、単位修得に必要な理解度の水準を学生が理解できる等、教育効果が大きいと感じている。
- ・授業中に8回程度、授業について来られているか、挙手で確認している。6割程度しか手が挙がらなかった場合は、補足説明を行う等、インタラクティブな理解度チェックを行っている。

参加者アンケートより

- ◆「個人的な意見」と前置きしつつも、実践例やお考えをお聞きでき、非常に参考になりました。自身にフィードバックし、秋学期に活かしたいと思います。
- ◆直接質問させていただいたので有益でした。先生方お二人とも私語を見過ごさないところが印象的でした。敢えて雑談を挟む、それを楽しみにしている学生がいる。温かみを感じました。
- ◆日頃、時間をかけずに効果を上げるにはどうしたらよいか、と考えていますが、それを実践し、かつベストティーチャーに選ばれていることが印象に残りました。
- ◆アプリを使用して学生と双方向・多方向のコミュニケーションを試みている点が参考になりました。
- ◆授業の双方向性を実現するツールの知識が得られたこと、学生の授業中の望ましくない行動に直面する機会があるのは自分だけではないとわかったことが有益でした。
- ◆首藤先生が授業の進め方の具体例を多く提示されたので参考になりました。試験の過去問配布は驚きでした。クイズを1コマで数回やる、休憩1回・雑談1回、15分ごとに学生がついてきているか挙手で確認なども参考になりました。
- ◆「学生がAIを使用することを前提として、成績は試験を中心に評価する」という首藤先生のご意見に考えさせられました（私自身も頭を悩ませている点なので）。
- ◆学生から講義での高評価を得ている先生方の話を興味深く拝聴しました。特に李先生の方法は現在実践している方法と同じ（冒頭でのクイズ、歩き回る、次回講義でリアペへの返答、PPTの工夫）でしたので自信になりました。
- ◆報告者お二人の担当授業の条件に程よく多様性があったため（文理、受講者数、必修基礎科目としての性格等）、授業工夫の種類に広がりが出て参考にしやすいと感じました。

主催：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

2024年度第1回FD教員セミナー

学生が選ぶベストティーチャーによる
授業運営の工夫 vol.4

毎年好評の「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞教員による講演の第4弾です。実際に授業を受けている学生から多くの支持を受けた授業運営の工夫を紹介します。セミナー内では質疑応答の時間も設けますので、勇ってご参加ください。

日時 7月31日 水 18:00～19:30

開催方法 Zoomによるオンライン開催
※録画による後日配信は行いません

対象 本学教員（専任教員・兼任講師） 定員 なし
博士後期課程学生

講演者（2023年度受賞）

李 舜志
社会学部准教授
【主な担当科目】
メディアと人間関係
【専門分野・研究テーマ】
教育哲学、教育社会学

首藤 裕一
情報科学部准教授
【主な担当科目】
データ構造とアルゴリズム1,2、
離散構造2、コンピュータシステム入門1
【専門分野・研究テーマ】
理論計算機科学（に分類計算理論）

参加申込方法
右記のQRコード、またはURLにアクセスし、指定の申込フォームにてお申込みください。
URL: <https://forms.gle/4qxNFK77UpHEpcmR7>
※ログインの際に使用するメールアドレスは、ご自身の法政大学のメールアドレス(hosei.ac.jp)をご入力ください。
※個人情報は厳重に管理し、本イベント以外の目的で使用いたしません。

申込締切 7月29日（月）17:00

法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター
TEL : 03-3264-4268 E-mail : kyoiku@hosei.ac.jp

法政大学
Hosei University

